

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年3月11日(2021.3.11)

【公開番号】特開2019-154801(P2019-154801A)

【公開日】令和1年9月19日(2019.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2019-038

【出願番号】特願2018-45627(P2018-45627)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月22日(2021.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

通常区間では、ストップスイッチの有利な操作態様を報知せず、

有利区間では、ストップスイッチの有利な操作態様を報知する場合を有し、

有利区間の終了に伴う第1初期化処理では、所定の記憶手段の第1の記憶領域を初期化可能とし、

設定変更に伴う第2初期化処理では、所定の記憶手段の第2の記憶領域を初期化可能とし、

第1の記憶領域は、第2の記憶領域に含まれ、

リプレイに対応する図柄組合せが停止表示しなかった遊技において、通常区間から有利区間への移行契機を満たした場合には、有利区間であることを示す試験信号を出力するための処理を実行してから所定期間が経過した後に、遊技価値が投入可能であることを示す試験信号を出力するための処理を実行可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、試験信号を出力可能な遊技機に関するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来の遊技機において、B B中、R B中、リプレイゲーム中をそれぞれ示すB B中信号、R Bゲーム中信号、リプレイゲーム中信号により、その時点の遊技状態を特定可能とす

ることが知られている（たとえば、特許文献1参照）。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2018-011864号公報

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかし、従来の技術において、有利区間中であるか否かを試験機において識別することができなかった。

本発明が解決しようとする課題は、有利区間中であるか否かを試験機に対して正確に知らせることである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する。なお、かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。

本発明は、

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

通常区間では、ストップスイッチ(42)の有利な操作態様を報知せず、

有利区間では、ストップスイッチの有利な操作態様を報知する場合を有し、

有利区間の終了に伴う第1初期化処理では、所定の記憶手段(RWM53)の第1の記憶領域を初期化可能とし、

設定変更に伴う第2初期化処理では、所定の記憶手段の第2の記憶領域を初期化可能とし、

第1の記憶領域は、第2の記憶領域に含まれ、

リプレイに対応する図柄組合せが停止表示しなかった遊技において、通常区間から有利区間への移行契機を満たした場合には、有利区間であることを示す試験信号を出力するための処理(図303のステップS2996、及び図304のステップS3002の処理)を実行してから所定期間(図295のステップS2862及びS2863の処理に要する期間)が経過した後に、遊技価値(メダル)が投入可能であることを示す試験信号を出力するための処理(図303のステップS2993及びS2994、並びに図304のステップS3002の処理)を実行可能とする

ことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、有利区間中であるか否かを試験機に対して正確に知らせることができ

る。